

科(科目)	地理歴史(地理総合)	単位数	2 単位 学年(系) : 1 学年必修
使用教科書 使用地図帳	帝国書院『高等学校新地理総合』 帝国書院『新詳高等地図』		
副教材等	東京法令出版 新編地理資料 2025 高等学校新地理総合ノート		

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>①広い知識と科学的思考に裏付けられ、事に臨んで適切な判断ができる能力を育成します。</p> <p>②強靱な体力と不屈の忍耐力を持ち、信念を持って行動するたくましい態度を育成します。</p> <p>③相手の立場に立って物事を考え、人の心を汲み取って思いやる温かい心を持つ姿勢を育成します。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>①選抜性の高い大学や専門学校受験に対応できる教科・科目を重点的に配置し、1・2 学年では全員が共通の教科・科目により、広く基礎的な知識・技能を学びます。3 学年では大学文系・理系選択を主とした選択科目により、個々の進路目標や興味・関心に合わせて学びます。</p> <p>②授業第一主義とし、主体的・対話的で深い学びの充実と探究的な学びの実現に向け、ICT を積極的に活用し、学習評価の妥当性・信頼性をより一層高めるなど、不断の授業改善を行います。</p> <p>③「総合的な探究の時間」では、各教科学習で身に付けた知識・技能等を活かし、課題発見・解決力の育成を主とした地域探究活動を行います。思考力や判断力・表現力、情報活用・プレゼンテーション能力等も育成し、自己の将来の在り方生き方の確立に関連付けます。</p> <p>④学校行事や部活動では、安全安心な環境整備に努め、生徒の主体的な活動を支援するとともに、多様性を尊重し他者と協働して対処していく力を育てます。</p>

2 学習目標

<p>社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題追究や解決の活動を通じ、国際社会に主体的に生きる資質・能力を育成する。</p> <p>①地理に関わる諸事象に関し、世界の多様性等を理解すると共に、地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。</p> <p>②地理的課題の解決に向けての構想力をはじめ考察、説明したり、議論したりする力を養う。</p> <p>③地理的事象の学びを通して、よりよい社会の実現を視野に諸課題を解決しようとする態度を養い、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重する態度と自覚を深める。</p>
--

3 指導の重点

<p>①基礎的・基本的な知識の理解と定着を目指すとともに、読図力、統計やグラフの作成と活用力に加え、それらの表現や発表の力を身につけさせる。</p>
--

②デジタル教科書をはじめとしたICT教材を利用し、地理的事象について興味・関心を深め、課題に対する考察力や表現力を身につけさせる。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解しているとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関係を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したり、それらを基に議論したりしている。	地理に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者としてよりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追求、解決しようとしている。

5 評価方法

評価は次の観点から行います。			
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・定期考査 ・ワークシート ・教科書作業や課題 ・ノート点検 などから、評価します。 (40%)	以上の観点を踏まえ、 ・定期考査 ・ノート点検 ・ワークシートの内容確認 などから、評価します。 (40%)	以上の観点を踏まえ、 ・論述課題 ・ワークシートの内容確認 ・振り返りシートの記述の分析 などから、評価します。 (20%)
	内容のまとまりごとに、各観点 「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」 で評価します。 内容のまとまりごとの評価規準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	時間	教材名	学習活動	評価の観点	評価方法
4	地球上の位置と時差	4 A 地図と地理情報システム	地球上の位置と私たちの生活	読図作業を基に地図や地理情報システムの役割や活用方法について理解する。 作業を通して用途・内容・適切な活用方法を考察し、表現する。その上で主体的課題追究の態度を養う。	b	ノート点検
	地図の役割と種類		時差と私たちの生活		a	ワークシート
			地球儀と地図 身の回りの地図 統計地図の種類と利用 地理情報システムの利用		b a	ノート点検 教科書作業
現代世界の国家と領域	4 A 結びつき	現代世界の国家	現代世界の地域構成を示す様々な地	c	ワークシート (考察)	

		を深める現代世界	日本の位置や領域	図の読図を基に、日本の位置と領域、国内や国家間の結びつきについて理解する。	b	ハート点検
5	グローバル化する世界		国家間の結びつき 貿易によって結びつく世界 様々な交通網の発達 世界を結ぶ通信網の発達 観光のグローバル化	国家や国家間の結びつきを多面的・多角的にとらえ、考察し表現する。	c b a	ワークシート (考察) ハート点検 教科書課題
	中間テスト	1			ab	定期考査
	生活文化の多様性	10	生活文化を考察する方法	世界の人々の生活文化を基に、それが地理的環境から影響を受けたり、与えたりして多用であることや、地理的環境の変化で変容することを理解する。		
	世界の地形と人々の生活	B生活文化の多様性と国際理解	大地形と人々の生活 変動帯と人々の生活 安定地域と人々の生活 河川が作る地形と人々の生活 海岸の地形と人々の生活 氷河地形・乾燥地形・カルスト地形と人々の生活	また、自他の文化の尊重と国際理解を図ることの重要性を理解する。	a b b a	小テスト ハート点検 ワークシート 教科書課題(読図)
6	世界の気候と人々の生活		気温・降水と人々の生活 大気大循環と人々の生活 世界の植生と気候区分 熱帯の生活 乾燥帯の生活 温帯の生活 亜寒帯・寒帯の生活	世界の人々の生活文化について、それが見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりに着目し、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。	a b b a c	小テスト ハート点検 ワークシート 教科書課題(グラフ) 教科書課題(写真)
7	追究事例 自然① オセアニア 注：担当選択		人々を引きつける多様な自然環境 自然環境を活かした産業と人々の生活	生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究・解決しようとする態度を養う。	a b c	ハート点検 ワークシート 論述課題
	追究事例 自然② 東南アジア 注：担当選択		モンスーンの影響を受けてきた人々の生活 気候を生かした農業と人々の生活			
	世界の言語・宗教と人		世界の言語と人々の		a	ハート点検

	々の生活 追究事例 宗教① 中央アジア・西アジア ・北アフリカ 注：担当選択 追究事例 宗教② インド 注：担当選択		生活文化 世界の宗教と人々の生活文化 イスラームを中心とした生活文化 乾燥地域で暮らすムスリムの生活 変化するムスリムの生活 インドの歩みとヒンドゥー教 宗教や自然環境の影響を受けるインドの食生活 変化するヒンドゥー教徒の生活		b ワークシート a ハート点検 b ワークシート c 論述課題
7	期末テスト	1			ab 定期考査

8	歴史的背景と人々の生活 追究事例 歴史① ラテンアメリカ 注：担当選択 追究事例 歴史② サハラ以南アフリカ 注：担当選択 追究事例 歴史③ ロシア 注：担当選択 世界の産業と人々の生活	10 B生活文化の多様性と国際理解 (続き)	歴史的背景が人々の生活に与える影響 ヨーロッパ社会の影響が強い文化 大土地所有制が生み出した社会構造 外国資本による工業化と生活の変化 生活文化に残る旧宗主国の影響 植民地支配の影響が残るアフリカの産業 人々の生活の変化と経済成長への取組み 国際体制の変化が人々の生活に与えた影響 変化するロシアの産業 人々の生活を支える農業の発展 人々の生活を支える工業の発展		a ハート点検 b ワークシート a ハート点検 b ワークシート c 論述課題 a ハート点検 b ワークシート
---	---	------------------------------	---	--	---

			グローバル化する現代の産業と人々の生活		
10	<p>追究事例 産業① アメリカ合衆国</p> <p>注：担当選択</p> <p>追究事例 産業② 東アジア</p> <p>注：担当選択</p> <p>追究事例 産業③ ヨーロッパ</p>		<p>世界に大きな影響力を持つ知識産業と資源</p> <p>世界の食卓に影響を与える農業</p> <p>産業の発展を支えてきた移民の力</p> <p>東アジアの経済成長とその歩み</p> <p>経済成長による中国の生活の変化</p> <p>経済成長による韓国の生活の変化</p> <p>EU統合と人々の生活</p> <p>EU統合による農業への影響</p> <p>EU統合による鉱業や社会への影響</p>		<p>a ハート点検</p> <p>b ワークシート</p> <p>c 論述課題</p>
	中間テスト	1			ab 定期考査
11	<p>複雑に絡み合う地球的課題</p> <p>地球的環境問題</p> <p>資源・エネルギー問題</p> <p>人口問題</p>	1 6 B 地球的課題と国際協力	<p>相互に関連する地球的課題と圏解決に向けて</p> <p>多様な地球環境問題</p> <p>熱帯林の破壊への対策</p> <p>地球温暖化への対策</p> <p>世界前エネルギー・鉱産資源</p> <p>エネルギー利用の現状と課題</p> <p>地域で異なるエネルギー問題への取り組み</p> <p>世界の人口</p> <p>発展途上国と先進国の人口問題</p> <p>地域で異なる人口問題への取り組み</p> <p>飢餓と飽食</p>	<p>世界各地の地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食糧問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する携行性や課題相互の関連性などについて大観し理解する。また、それらの解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることを理解する。</p> <p>先の地球的諸課題について地域の結びつきや持続可能</p>	<p>a ハート点検</p> <p>b 教科書課題（写真）</p> <p>a ハート点検</p> <p>b ワークシート</p> <p>c 論述課題</p> <p>a ハート点検</p> <p>b ワークシート</p> <p>c 論述課題</p> <p>a ノート点検</p>
12	食料問題				a ノート点検

		地域で異なる食料問題への取り組み	社会作りなどに着目し、主題を設定して現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し表現する。さらに、それらを追究・解決しようとする態度を養う。	b c	ワークシート 論述課題
	都市・居住問題	世界の都市の発展 発展途上国と先進国の都市・居住問題 地域で異なる都市・居住問題への取り組み		a b c	ノート点検 ワークシート 論述課題
	期末テスト	1		ab	定期考査

1	日本の自然環境	8 C 自然環境 と防災	日本の地形 日本の気候	国内外をはじめ地域で見られる自然災害を基に地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりを理解する。 ハザードマップや新旧図の比較など地理情報の読み取り技術など地理的スキルを身につける。 地域性を踏まえた防災について多面的・多角的に考察・表現し、課題を主体的に追究・解決しようとする態度を養う。	a b	ノート点検 ワークシート
	地震・津波と防災		地震・津波による災害 地震・津波の被災地の取り組み		a b c	ノート点検 ワークシート 論述課題
	火山災害と防災		火山の恵みと災害 火山と共生する地域の取り組み		a b c	ノート点検 ワークシート 論述課題
	気象災害と防災		さまざまな気象災害 気象災害への取り組み		a b c	ノート点検 ワークシート 論述課題
2 ・ 3	自然災害への備え		減災の取り組み 被災地への支援	b c	ワークシート 論述課題 と振り返り	
	生活圏の調査と地域の展望	7 C 生活圏の調査と地域の展望	地理的な課題と地域調査 現地調査の準備 現地調査の実施 調査の分析と発表		c	地域課題の調査とまとめ 及び振り返り

学年末テスト	1			ab	定期考査
--------	---	--	--	----	------

計 64 時間 (55 分授業)

7 課題・提出物等

- ・ 単元によって基礎的知識と技能の小テストがあります。
- ・ テーマによって論述課題の後に振り返りシートを記入し提出してもらいます。これは長期休業中の課題として出されるものもあります。
- ・ ワークシートは授業内容を補完する作業や課題で、主に授業中にしてもらい提出してもらいます。

8 担当者からの一言

地理総合は地理的諸事象を土台に現代社会の成り立ちや、現在や未来に向けての諸課題を考察する科目です。そのため、身の回りにある風景やその背後にあるものなど多角的・多面的に探究し、まとめ上げる能力が求められます。そのような知識・技能と考え方を身につけ、さらには表現する力を養ってもらいたいと願っています。まさに地域を科学する。風景を理解する地理となるように頑張りましょう。地理という科目の面白さを理解してもらいたいです。

(担当：西村 孝雄)